



津市一身町2843  
高田中・高等学校内  
樹心会事務局  
電話 059-232-2442



ご挨拶  
同窓会会長  
佐脇 功

皆様には、お褒りなくご健勝のことと存じお慶び申し上げます。各地各界で多くの同窓会会員が活躍されていることは誠に喜ばしい次第であります。

本年四月の統一地方選挙において前葉泰幸津市長が見事に無投票当選されました。主要政党をはじめ多くの団体から推薦されるとともに一期



ご挨拶  
学苑長  
高臣 文祥

同窓の皆様方にはますますご健勝にて各方面でご活躍のこととお喜び申し上げます。

高田学苑では、中・高等学校はさぶる堅調に、短期大学では、キャリア育成学科の募集に苦勞するところはありますが、概ね順調に運営されております。学生生徒たちは皆が明るくのびのびと学苑生活を送っております。詳細につきましては学長、校長から報告いたします。

会で昨年の秋季大会に続いて優勝を遂げられました。指導の手腕は高く評価されています。今後一層のご活躍を祈念します。他にも多くの同窓会員が活躍されています。

母校の近況は、学苑長先生はじめ諸先生方からご案内されています。進路指導、部活動など文武両道にわたり著しい成果を挙げています。同窓会としても近年からは全国大会出場選手をささやかではあります但し、励支援しています。

母校は「仏教精神を基として宗教的情操を培い、人間性豊かな社会人を育成する」ことを建学の精神としています。母校で学んだ教養は卒業後、何らかの形で自己の人生に育まれ生かされると信じています。

少子化が著しく進むなど私学を取りまく環境は厳しい状況です。総務省が五月四日にまとめた人口推計（四月一日時点）によると、十四歳以下の子どもの数は三十四年連続で

住民約百六十人の参加を得て合同の防災訓練を実施しました。当日は、報道機関も多数取材に訪れる大規模な防災訓練となりました。

今回の訓練を検証して今後も継続的に防災訓練に取り組み、学生・生徒・教職員の防災意識を高めると共に、地域住民との連携を図っていく所存です。

また学苑では中高等学校保護者会・短期大学教育後援会の協力を得て、一般社団法人日本非常食推進機構と協定を結び、災害時に役立つ非常食等備蓄品（白い小箱）三千二百十個を購入しました。この「白い小箱運動」に参加することにより、学生生徒の防災意識を

減少し、千六百十七万人となった。一九五〇年以降で最少を更新した。総人口に占める子どもの割合も過去最低の十二・七％で四十一年連続で低下した。このような記事が新聞で報道されました。三重県内の十五歳未満の子どもの数（昨年十月一日）は前年より四千八百人少ない二十四万人だった。過去五年間で一万二千人減っており、少子化に歯止めを掛からない現状を示している。十、十四歳が八万七千人、五、九歳が七万九千人と年齢が低いほど少ない傾向にあると新聞で報道されました。

県内のある学校法人では、学校の名称を変更された私学もありますが、学校の教育指導の中心が最も大切であり、教育内容により困難な環境を乗り越えられるものと思います。母校では、先生・職員の皆様方が社会の現況を理解され、施設・設備の拡充整備、教育内容の充実・指導方法の創意工夫に努力され、学苑経営・学校

啓発し、且つ障害者の就労支援（近隣施設の障害者の方々による梱包・納入作業）、学生生徒が卒業時にこれを寄付することにより、海外への食糧支援や地域住民（老人世帯）支援に役立てる等の社会貢献活動にも繋がっています。

今年度の事業計画で特筆すべきことに、新たな多目的運動場を造成が実現しています。西グラウンドのさらに道を挟んで西、JR線沿いの農地約一万平米を取得し、人工芝の多目的運動場とオムニのテニスコート二面を整備する事になりました。計画では六月に着工し十二月中に完成する予定です。

この計画は一昨年十一月から進め

運営にご尽力されていたことと学生・生徒の皆様も学習に邁進されている賜物で母校は発展を続けています。同窓生一同、深く感謝いたし厚くお礼申し上げます。

同窓会員数は年々増加の一途で県内最大規模です。各地各界それぞれの職域職場で同窓会員が多数、活躍しています。情報を共有して、一層の一致団結、相互の絆・親睦を深めて活躍、社会貢献を期待します。母校に勤務されている同窓の皆様は母校愛の精神のもと、母校の教育を支えているという自負心を持ってご尽力をお願いいたします。

本年度の同窓会総会・懇親会は八月二日（日）午後三時から津駅東口のホテルグリーンパーク津で開催します。是非、お誘い合せて多くの皆様に参加されますようお願い申し上げます。

られてきましたが、その途上で昨年十一月頃に三重県の女子サッカーにおいて高校卒業後の進路の受け皿として、高田短大に女子サッカー部を創設してはという話が浮上してきました。そして新聞報道などマスコミにも取り上げられたのでご承知の方もおられるかと思いますが、元日本女子サッカー代表でワールドカップ三度、アテネオリンピックにも出場した経歴を持つ宮本ともみさんに監督就任を打診したところ快諾を得て、二十八年から活動を開始すべくその準備に入っています。このことが短大および学苑の一層の活性化に大きく資するものと期待しています



ご挨拶と報告

中高校長 梅林 久高

皆様におかれましては健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。日頃は本校の発展にご理解とご支援を賜っていることに感謝申し上げます。

この三月には卒業生六二五名(三年生四二二名、六年生二二三名)がさらなる自己実現を目指して飛翔して行きました。四月には中一が一八二名、高一が四〇六名入学してきました。在校生と合わせて二三七一名、六十三クラスでスタートしました。

今年度から中学の募集定員数を従来の一八〇名に戻しました。全校生の男女比はほぼ等しく、男子が一三五名ほど多いです。

生徒達は自然に囲まれた一身田の景観、重要文化財の本山専修寺の御影堂、如来堂を始め諸堂から歴史の重みを薫染し、老若男女の人々が参詣される姿から和やか雰囲気醸し出されていることを肌で感じています。こうした教育環境を背景にした地域で、伸び伸びと洗刺と学業にク



短大の現況のご報告

短大学長 栗原 廣海

樹心同窓会会員の皆様には、御健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。日頃は、本学の教育に

ラブにと打ち込んでいます。

仏教、親鸞聖人のみ教えを建学の精として、人生で大切な思春期をこの高田で過ごすことのご縁と、自己の無限の可能性を忘れ失うことなく日々育って行ってくれることと強く確信しています。

昨年の就職、進学状況、部活動においても好成績を上げていますので、詳細な内容や結果などは会報の記事をご高覧下さい。

県下においても年々、生徒の減少は著しく募集の確保が喫緊の課題です。県立の授業料無償化や公立志向等の影響を受けていますが、誰でもが学べる学校でありたいとの思いから設けた本校独自の授業料等生徒納付金助成制度も順調に運用されています。高田が信頼され愛され続けるためには教職員のスキルアップが最重要でありますので、授業参観、公開授業を実施し、自己研鑽に一層精進し、生徒の目線にたち魅力ある授業を展開することを目指すところです。

保護者・学校外部評価委員会の皆様に学校評価アンケートのご協力を頂き、ご意見を反映・活用し改善しているところです。また、昨今の教育現場では、キャリア教育の推進充実、

理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

子ども学科百六十二名、キャリア育成学科七十二名、合計二百三十四名の新生を迎えて平成二十七年年度がスタートしました。

本年は、昭和四十一年に「保育科」五十名でスタートした本学の、創立五十周年に当たります。創立以来、

アクティブラーニングの導入やIT教材による授業展開が実施されていますので、本校でもその導入、利用が課題でもあります。ソフト面では多面的な教育環境をより整えて生徒一人一人の豊かな人格形成の涵養と進学の成果につなげていくことが肝要だと痛感しています。

部活動では、運動部文化部合わせて中学は二十八部、高校生は四十八部があり、多くの生徒が日々精進しています。同窓会設置の「全国出場クラブ激励金」を頂いた高校のクラブ数は九クラブ。ご支援に対して重ねて感謝申し上げます。中高合わせてクラブ数は七十六の部があり、顧問確保に苦慮しています。また、嬉しい活躍の反面、遠征費の出費も生じ財源確保に苦慮しています。三〇年開催のインターハイにむけて、馬術部、軟式野球部が県の強化チームに指定されました。また部活動以外にも様々な分野で活躍し入賞、表彰を受けています。

活気ある学校の姿として中高生徒会活動もその一つです。特に高校生生徒会では生徒達が中心となり積極的に四つの委員会を頑張って運営してくれています。生活委員会のあい

様々な改組変遷を経て、現在は「子ども学科」と「キャリア育成学科(オフィスワークコース・介護福祉コース)」の二学科体制で、「仏教精神に基づく人間教育」の建学の精神のもと、「やわらか心の社会人の育成」

を教育理念として、地域に有為な保育者・オフィスワーカー・介護福祉士の育成に邁進していますが、五十

さつ運動、環境委員会のエコキャップ、学校周辺、一身田寺内町清掃、安全推進委員会の地震など防災に対する講習会実施、交通安全対策、企画委員会による学校行事の運営などを展開しています。中高共に生徒会活動を通して協力しあい友情の絆を広げています。

子供を取り巻く社会状況に最新の注意を払う必要も多々あります。激しいインターネット社会の変化とともに利便性有益性とは別にサイトやラインなどによるトラブル未然防止のため、常にその健全な利用方法の指導が必須です。また、自転車通学生交通事故防止のための安全配慮の徹底を推進し、公共機関の車内や公共の場所でのルールを守り、利用マナーを身につける指導を展開しているところです。地震、津波対策など喫緊の課題は様々ありますが、無限の可能性をもつ子供たちを丁寧な育てて行くには家庭と学校との緊密な連携が不可欠です。その一助として学年通信の発行やホームページを立ち上げていますのでご覧頂ければ幸いです。

この度、樹心会報も六〇号を迎えました。大正十五年に同窓機関誌と

周年を機に、改めてその歩みを振り返り、今後の発展を期したいと考えています。時期は未定ですが、記念行事も考えていますので、多くの皆さんのご出席をお願いいたします。

さて、昨年の本紙に、「学校教育法」の改訂によって、平成十六年四月より大学・短期大学は、教育研究や組織の管理・運営等について国の認証

して「樹心」が発行されましたが、戦時下昭和十八年から休刊。そして昭和三十一年(一九五九年)に「樹心会報」として復刊され今日に至ります。この樹心の名は親鸞聖人の「教行信証」の「慶ばしいかな、心を弘誓の仏地に樹て、念を難思の法海に流す。」から頂いた名です。意味はうれしいことであるが、わが心を如来の本願の大地に樹て(たて)、わが思いを考え尽くせぬ願海に流させていたたくと念仏の教えを味われた自らの告白です。樹木の樹を「たて」と読ませ、樹立の意味が込められています。すなわち私の心のよりどころを阿弥陀如来の本願の大地にしっかりと植えろと言われます。大地に根をしっかりと伸ばし、木々がぐんぐんと風雨に耐えながら成長していく様に、教えに出会い、仏にまかすことにより私も生きていくことができた喜びを表しています。

樹木が年輪を刻みながら成長していくよう私たちも皆さんと共に同窓の絆を一層深め広げて行きたいものです。教職員の多くが皆様の来校をお待ちしていますので是非学校にお立ち寄りください。

を受けた認証評価機関の評価(第三者評価)を七年に一度受けることが義務づけられたこと、そして昨年が第二回目の評価を受けなければならぬ年に当たっていたことを書きま

した。認証評価機関はいくつかありますが、本学は「一般財団法人短期大学基準協会」の会員校であり、この機

平成27年度

# 高田学苑樹心同窓会総会

平成27年 8月 2日(日) 午後 3時～6時

●総会 ホテルグリーンパーク津(津駅前アスト津内) 6階 中宴会場

●懇親会 ホテルグリーンパーク津(津駅前アスト津内) 6階 伊勢の間・安濃の間(大宴会場)

○総会・追弔会

○バンド演奏 浅岡栄子 with GONNA

○懇親会

※会費、3,000円当日受付いただきます。  
※お車で越しの方はアスト津駐車場をご利用ください。  
※お酒が出ます。飲まれる方はお車での参加はご遠慮ください。



樹心同窓会協力金にご賛同いただいた会員の皆様  
●ありがとうございます●

(卒業年度順)

山口 俊二 (旧中S22)	志田 行弘 (高校S40)	千草 篤磨 (中6S49)
佐脇 功 (高校S25)	服部 樹一 (中3S40)	東 孝孝 (短大S50)
伊藤 清一 (高校S28)	前川 伸一 (高校S42)	鷲尾 尚史 (中3S50)
落合 壽 (高校S31)	安井 敏明 (高校S44)	河北 浩峰 (高校S54)
大橋 達郎 (高校S32)	岡野 英治 (高校S45)	太田 康之 (中三S55)
織田 信勝 (中三S35)	北端 一子 (短大S45)	大西 正 (高校S55)
九鬼 正孝 (中三S35)	鈴村 豊嗣 (中三S45)	竹上 真人 (中6S56)
坪井 清美 (中三S35)	恒田 恵美子 (中三S45)	川本 ぼづみ (中6S58)
別所 恒夫 (中三S35)	長谷川 博 (中6S45)	高橋 亜紀 (中6S58)
瀬野 孝順 (高校S35)	松田 英明 (中6S45)	中尾 るみ (高校S58)
大西 勝利 (高校S38)	村田 佳久 (中三S45)	山本 多佳子 (高校S58)
乙部 満生 (高校S38)	山川 裕実 (中三S45)	中川 雅弘 (中6H1)
鈴木 公和 (高校S38)	太田 まさ子 (高校S48)	中山 聡 (高校H5)
柘植 あつ子 (高校S38)	岡田 哲也 (高校S48)	河野 多恵子 (短大H7)
辻 保彦 (高校S38)	篠村 尚人 (高校S48)	梅林 朋恵 (高校H15)
椽尾 義就 (高校S38)	野呂 敏明 (高校S48)	堤 孝広 (中6H15)
中森 忠弘 (高校S38)	平松 政弘 (高校S48)	蒔田 悠 (高校H15)
前河 善高 (高校S38)	山口 恒夫 (高校S48)	関 岡 奈津 (中6H15)
米田 一久 (高校S38)	川田 明 (中6S49)	

寄附金

高田高校 昭和41年卒同窓会一同 様より、今までの同窓会活動の  
余剰金とし ¥35,699 ご寄付をいただきました。  
今後の同窓会活動に有意義に使わせていただきます。ありがとうございます。

## 協賛企業一覧

(五十音順)

名 称	名 称
愛 知 (株)	(株)中部都市建築設計事務所
ア イ ン ス (株)	(株) 辻 工 務 店
明 石 被 服 興 業 (株)	(株)津ドライブینگスクール
荒 川 制 服 (株)	日東カストディアル・サービス(株)
森永牛乳伊藤販売店	日本カルミック(株)
レンタルドレス衣	(有) 博 進 堂
岡 三 証 券	(有) 樋 口 商 店
岡 写 真 館	百 五 銀 行
オリエント印刷	富士ゼロックス三重(株)
近畿日本ツーリスト(株)	(株) 武 道 東 海
(株)近鉄百貨店	ブ リ ク ス ト シ
(株) 鴻 池 組	(株) フ レ ン ド
コカ・コーラセントラルジャパン(株)	(有)プロフォートコパン
三 和 書 店	(有)平治煎餅本店
(株) J T B 中 部	ペ ー バ ー ラ ン ド ト マ ト
写 真 の は せ	三 重 ト ヨ タ 自 動 車 (株)
シ リ ョ ー 特 機	三菱電機ビルテクノサービス(株)
鈴 木 商 事	名 鉄 観 光 サ ー ビ ス (株)
(株) Z T V	(株) 名 鉄 百 貨 店
第 三 銀 行	山 本 嘉 雄 事 務 所
千 卷 印 刷 産 業 (株)	

関が実施する第三者評価を受けました。その結果は「短期大学基準協会」で審議され、「建学の精神と教育の効果」「教育課程と学生支援」「教育資源と財的資源」「リーダーシップとガバナンス」の四つの基準すべてに合格、本年三月十二日付で、本学の教育活動全般に対し、「適格」との評価を受けることができました。また、評価のなかで、本学の数々の取り組みのうち、①建学の精神と教育の理念に則った教育実践、②キャリアアカルテを用いた全学的学生支援、③「教員活動自己点検・評価とそれに基づく教員評価」をとおしての教育改善、④「ラーニング・コミュニティ」と「ITコンシユルジュ」による学修支援、⑤教員の積極的な外

部資金獲得を、「特に優れた試みと評価できる事項」として取り上げていただきました。これを励みに、今後ますます充実した学修支援を展開していきたいと考えています。評価文は本学のホームページに掲載していますので、お読みいただければ幸いです。さて、今大学では、教員が「何を教えるか」という、教員の視点に立った教育から、学生が「何を身につけ、何ができるようにするか」という、学生の視点に立った教育への転換が求められ、学生が身につけるべき「学修成果」を明確化することが求められています。本学では以前より、「ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)」に、「学修到達目標」

として明示してきましたが、この度、第三者評価を機に改めて見直しをし、新たに「四つの観点」に基づいて「学修成果(学修到達目標)」を記述し直しました。また、どの授業科目を学修することによってどのような学修成果を得ることができているかを明確化するために、「カリキュラム・マップ」を作成するとともに、学修の段階や順序、教育課程の体系的性を明示するために「履修マップ」を作成し、「カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)」に記述しました。さらに、「学修成果(学修到達目標)」を実現して「短期大学士」の学位を取得し、社会に貢献できる学生を獲得するために、どのような人材をどのように求めるのかを「ア

ドミッション・ポリシー(入学者受入方針)」に具体的に明記しました。これもHPに掲載していますのでご覧いただければ幸いです。この四月から、本学では、女子サッカー部を創設し、「なでしこジャパ」のメンバーとして世界的に活躍された元「伊賀FCくノ一」の選手、宮本ともみさんを監督に迎えることができました。また、同じチームで活躍された松窪裕子さんをコーチに迎え、宮本さんをサポーターとしてくださいます。現在、三重県には五つの高校に女子サッカー部がありながら、県内の大学には女子サッカー部がありませんでした。クラブチームで活躍している女子高校生もいます。本学はそんな県内の選手のほか、他県

の選手も含めて受け皿となり、日本女子サッカー選手育成の一端を担うことができると考えています。昨春秋、政府に「まち・ひと・しごと創生本部」が発足し、大学・短期大学も地方創生への貢献が求められています。本学はこれまでも、数々の地域貢献事業をとおして、地域の活性化に寄与してきましたが、今後、さらには、女子サッカー部の活動をおとして一層地方創生に貢献していきたいと考えています。樹心同窓会会員の同窓生の皆様のご支援・ご協力を、どうぞよろしくお願いたします。

# 新任教職員紹介

- 一、氏名
- 二、担当教科
- 三、担当部活動
- 四、趣味・特技
- 五、着任のことは

## 中・高等学校

- 一、倉田 尚也
- 二、数学
- 三、ソフトボール部、高校軟式野球部
- 四、野球観戦、旅行
- 五、本年度より、高田学苑でお世話になることになりました。長い歴史と伝統のある高田学苑の教壇に立つ機会をいただき、大変嬉しく思っております。四月に着任してから数ヶ月がたち、素直な生徒たちと親かな先生方に囲まれて充実した日々を過ごしております。

その後の人生の壁を乗り越える力になると強く感じています。微力ながら生徒の皆さんや学苑のお役に立てるよう、努めてまいります。還暦の齢もあり、ご迷惑をおかけすることと思いますが、どうかよろしくお願い致します。

- 一、前坂 一夫
- 二、英語
- 三、なし
- 四、音楽鑑賞(コンサートに行くこと)車、将棋観戦
- 五、本年度より、非常勤講師として、歴史と伝統のある高田学苑にてお世話になることに喜びと責任を感じています。県立高校では非常勤講師も含め三十六年間勤務しましたが、縁あってこの学校に勤務させて頂くことになりました。今までに培ってきた授業に対するノウハウを取り入れ、できるだけ授業をわかりやすくして、かつ、興味を持ち、学力向上につながるよう、進路希望が叶えられるように微力ながら尽くしていきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひいたします。

- 一、見並 誠
- 二、数学
- 三、なし
- 四、読書、旅行
- 五、本校に非常勤講師として勤めさせていただき、早二ヶ月が経ちました。

私には、三年前に公立高校を退職しましたが、数学を教えることに未練もあり、他校で二年間勤めさせていただき、この四月より本校にお世話になることになりました。担当教科の数学は、必ずしも生徒の皆さんに好まれる教科ではなく、理数教育の低迷も叫ばれている昨今ではあります。本校の校訓は「言行忠信 表裏相応」ですが、これからの時代を担う人たちが、これを実践するにあたり、数学の学習の中から、その精神や素養をもつことも大切だと思っております。

十二年ほどのプランクもありましたが、新採三年目のつもりで頑張りますので今後ともよろしくお願ひします。

- 一、吉永 純子
- 二、家庭科
- 三、なし
- 四、茶道・書道
- 五、本年度より高田学苑にてお世話になることになりました。

大学卒業後、公立の中学校教員として数年務めた後、一度退職し、他県にて過ごしてきました。中学校勤務の折、雪の中、三年生の受験の引率で本学苑に来たことを懐かしく思い出し、この度このような良き御縁をいただけたことを大変嬉しく思います。

まだ、着任して二ヶ月足らずですが、真摯に日々の教育活動に勤まれている先生方のご様子に、自分自身も身の引き締まる思いです。

まだまだ不慣れな上、未熟な点も多いですが、どうぞよろしくお願ひいたします。

## 短大

- 一、田中 真司
- 二、理科(物理)
- 三、なし
- 四、寺巡り、道巡り、本・映画巡り
- 五、「人生は道である」の言葉のよ

うに、本山に通じる道を与えていただきます。県立高校に三十六年間勤務し、人生の基礎を創る中・高校時代を葛藤しつつもどう生きたかが、

- 一、松谷 慧光
- 二、仏教
- 三、なし
- 四、ギター、音楽鑑賞
- 五、本年度より、母校でもある高田学苑にてお世話になっております。

歴史と伝統のある本学苑において教壇に立つ機会をいただけたことを有難く思うと同時に、身の引き締まる思いでもあります。

- 一、土肥 稔治
- 二、キャリア支援センター
- 三、なし
- 四、ロードバイク、水泳
- 五、四月よりキャリア支援センター

長として、学生の皆さんの就職活動を支援させていただくことになりました。昨年までは、県立高校の校長として学校運営を行って

- 一、渥美 麻衣
- 二、数学
- 三、中・高なぎなた部
- 四、読書・ピアノ・なぎなた
- 五、本年度より高田学苑でお世話になっております。母校であり、ずっと希望していた本学苑で教員になれるよう、ご支援ご指導くださった先生をはじめ、多くの方々からより感謝申し上げます。

生徒と共に過ごす毎日が始まって二ヶ月、生徒と共に学び合い、創り上げていく学びを目指しながら、充実した毎日をご過ごしております。また、自分が本学苑の生徒だったころにお世話になった先生方と一緒に、教材研究をしたり生徒の指導にあたりたりできていたことを、本当に楽しく思っております。

まだ分からないことだらけで、至らない点は多々ありますが、生徒との関わりを大切に、日々精進して参ります。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひいたします。

ましたので、高校生と直接触れ合う機会が少なく寂しい思いをしていました。今後、学生の皆さんとお話できることを楽しみにしています。キャリア支援センターは学生の皆さんの就職支援を行うところですが、就職に関する悩み事などの相談に乗る場所でもあります。学生の皆さんに寄り添いながら新しい人生のスタートを応援したいと思っていますのでよろしくお願ひします。

一、日沖 歩

二、総務課  
三、なし

四、野球観戦、読書

五、昨年度は図書館でお世話になり、今年度より総務課にてお世話になっております。

ご縁に恵まれ、継続して高田学園でお世話になることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。「総務課」という部署で勤めるのは初めてで、仕事の多種多様に驚いている毎日です。

総務課の皆さんをはじめ、事務局の皆さんにはご迷惑をお掛けしておりますが、早く仕事を覚え戦力になっていけるよう努めていきたいと思っております。

至らぬ点も多々あるかと思いますが、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

一、松窪 裕子

二、なし

三、高田短期大学女子サッカー部

四、読書、スポーツ観戦

五、この四月より、高田短期大学女

子サッカー部コーチとしてお世話になっております。三月までは福岡県にある体育館でスポーツ指導員をしておりました。

一からのスタートになりますが、創部に携われることをとても光栄に思うとともに身の引き締まる思いです。サッカー部創部によって本校だけでなく三重県全体が盛り上がるようなクラブにしていきたいと考えております。どうぞよろしくお願ひいたします。

一、宮本ともみ

二、女子サッカー部監督  
三、サッカー

四、ゴルフ、読書

五、このたび高田短期大学女子サッカー部の監督をさせていただきましたことになりました。選手歴は二十七年ですが指導者としては今年が一年目となります。

この高田短大で、新たなスタートが切れたことをとても感謝し、うれしく思うと同時に、一つのチームを築きあげていくことの責任を重く感じております。初めてのことで不安もありますが、チームの創設に関らせていただけたことは滅多にない光栄なことだと思います。新たな夢や目標ができ、楽しみでわくわくしています。

将来的には「サッカーをこの高田短大でやりたい」と言ってもらえるようなチームにしたいです。県内はもちろん、県外からも多くの選手が集まり、短大だけでなく三重県に対して貢献できるようにがんばっていききたいと思ひます。

進路指導

平成26年度生は、3年制I類212名、II類200名、6年制213名の合計625名が卒業しました。平成27年度入試の合格者および就職決定先がまとまりましたのでご報告します。

進路状況  
平成27年度入試の全体、3年制、6年制の進学結果は次の通りです。

	三年制				小計	六年制		小計	合計
	I類		II類			現	卒		
	現	卒	現	卒					
国立大学	0	0	5	2	7	93	23	116	123
公立大学	1	0	4	1	6	10	6	16	22
私立大学	168	4	286	19	477	381	150	531	1,008
文部科学省所管	0	0	1	0	1	3	2	5	6
公立短期大学	4	0	9	0	13	0	0	0	13
私立短期大学	48	0	16	0	64	0	0	0	64
国公立各種・専門学校	0	0	4	0	4	0	0	0	4
私立各種・専門学校	45	0	7	0	52	0	0	0	52
就職	2	0	1	0	3	1	0	1	4
合計	268	4	333	22	627	487	181	668	1,296

○三年制

主な大学進学先	人数
筑波大学	1名
愛知大学	14名
三重大学	4名
名城大学	17名
鳥取大学	1名
中央大学	26名
広島大学	2名
名古屋外国語大学	14名
都留文科大	1名
愛知県立大学	1名
鈴鹿医療科学大	34名
三重県立看護大	2名
皇學館大学	65名
京都府立大学	1名
近畿大学	12名
県立広島大学	1名
高田短期大学	39名

○六年制

主な大学進学先	人数
東京大学	10名(医学部1名)
名古屋大学	11名(医学部1名)
京都大学	15名(医学部2名)
大阪大学	10名
三重大学	31名(医学部23名)
神戸大学	4名
慶應義塾大学	20名(医学部1名)
早稲田大学	30名
東京理科大学	30名
同志社大学	49名
立命館大学	52名

過去5年間の合格者推移

	H23	H24	H25	H26	H27
卒業生	357	370	430	333	412
国公立大学	17	12	27	18	13
私立大学	356	411	503	361	477
短期大学	45	64	69	58	77
専修・各種学校	50	58	56	74	56
就職	6	9	10	7	3

過去5年間の合格者推移

	H23	H24	H25	H26	H27
卒業生	204	192	217	190	213
国公立大学(全体)	122	159	124	132	132
国公立大学(現役)	93	117	99	95	103
私立大学	465	362	410	436	531
医学部医学科(私立大学含)	79	71	55	70	103

本年度も地元志向が強くなり、中京圏内は約8割を占めています。また、文系では経済系や外国語系・教育系への人気が高く、理系では医療・看護系への人気が高くなっています。

東京大学10名、京都大学15名と合格者は大幅に増加しました。また、医学部の合格者も大幅に増加し、国立大学の医学部合格者は38名となりました。サンデー毎日などの週刊誌掲載によりますます、「医学部に強い高校」全国21位にランキングされました。また、私立大学医学部合格者まで含めると、103名と今までにない高い合格数となりました。

# 中・高部活動

## ■中・高柔道部

●平成27年度現在の部員数  
 中学生 3年生 男子2名  
 2年生 男子1名 女子1名  
 高校生 3年生 男子4名 女子1名  
 2年生 男子8名 女子1名  
 1年生 男子2名 女子1名  
 計21名

●三重県中学校体重大選権  
 女子個人52kg級 準優勝  
 2年生 飯田 美緑

●三重県高校柔道新人大会  
 男子団体 5位  
 男子個人60kg級 3位  
 2年生 小野 旭

●三重県高校柔道選手権大会  
 男子団体 6位  
 男子個人60kg級 5位  
 2年生 寺本 有希

●三重県高校総体  
 男子団体 5位  
 男子個人60kg級 5位  
 2年生 齋藤 翔

昨年度、高校総体において、男子団体準優勝と、一つの目標であった団体での東海大会出場を果たし、チームに自信と経験を与えてくれた3年生は現在それぞれの進路先でも柔道部に所属し新たなチームの一員として本校での経験と活躍を活かし柔道を続けてくれていることに非常に喜びを感じています。

中学校3年間、高校3年間で目標として結果を果たすのも大事なことでありますが、このように、ここでの経験を元に次のステージで続けてもらえることも大切なことだと感じます。そしてそれが伝統や発展につながると思われ、今後精進して参りますのでご指導、ご声援、ご協力のほどよろしくお願いたします。

【大会成績】  
 中学生の部  
 ●津市春季総体  
 男子個人55kg級 3位  
 2年生 別所 幹太  
 女子個人52kg級 優勝  
 2年生 飯田 美緑

## ■中・高剣道部

### 【試合結果】

●《高校》  
 ●三重県高等学校春季剣道大会  
 男子団体戦 準優勝  
 女子団体戦 第5位  
 優秀選手賞 3年生 稲垣 潤

●三重県高等学校総合体育大会  
 男子団体戦 第5位  
 女子個人戦 第5位 金子 祐弓  
 (東海大会出贈)

《中学》  
 ●津市中学校春季総合体育大会剣道競技  
 男子団体戦 第3位

高校生は男子が春季大会で準優勝という結果で、その後やれるだけのことはやったつもりでしたが、インターハイへの夢は叶いませんでした。今年のチームは男子も女子もよく伸びたチームでした。チーム内での力も拮抗し、スーパースターはいませんでした。沢山稽古し、沢山遠征にも行きました。結果につなげてあげられなかったのは、監督の責任です。生徒はよく頑張りました。保護者の皆様、ご心配も多々あったかと思いますが、いつも温かく見守っていただきありがとうございます。卒業生のみならず、いつも稽古に向いていただいで感謝しています。これからもよろしくお願いたします。

中学生は、ここ半年でずいぶん責任感が出てきたように思います。気合いの入った新入生を迎えたことで、チームの雰囲気も少しひきしまりました。夏に向けて、元気に稽古に励みます。

## ■中・高馬術部

馬術は、馬と人間が力を合わせて競技するスポーツです。競技者として大切にすべきことは、他のスポーツと同じくスポーツマンシップです。スポーツマンシップとは、競技のルールを守り、スポーツとしての品性とマナーを身につけたスポーツマンにふさわしい態度です。競技者として、勝利を求めるとは当然ですが、それは「勝つためには何をしても良い」ということではありません。

今年度も全国大会団体戦出場をかね、五月三十一日に愛知県森林公園にて東海予選が行われました。本校はBブロックで、栄徳高校と岐阜農林高校と対戦しました。結果は、総減点三十二で完敗し、全国大会出場

の機会を逃すという結果となりました。その反省を次に活かさなければ、次の試合も同じ結果になりかねないと考えています。勝利に際しては謙虚に振る舞い、敗北時には素直に負けを認め、相手に敬意を払うことが求められると思います。スポーツに関わる以上、負けを味わうことは避けられません。負けをどう捉えるかが大切であり、負けた時の態度こそが大切です。

今年度は新入生を迎え、中・高合わせて総部員数が四十名となりました。今回の結果を受けて、馬術というスポーツをより楽しむために、正々堂々とプレーできる選手であると同時に、顧問一同、学校生活でのフェアプレーを心から望みます。当たり前前のごことを当たり前前にできるように。

現在部員数は、高校三年生五名、二年生一名、一年生八名と、中学三年生六名、二年生十一名の計三十一名で活動しています。練習日は月曜日から金曜日です。水曜日と金曜日には外部から指導者の先生に来ていただいでおり、毎日熱心に練習しています。

## ■中・高箏曲部

昨年度の夏は、三重県高等学校日本音楽演奏会で三位となり、秋に開催されたみえ高文祭に出場することができました。

夏のコンクールは一年生にとつて初めての大舞台でした。コンクールまでは、早く先輩に追いつけるように夏休みも毎日練習しました。当日は台風のためコンクールが中止となり、録音での審査となってしまいました。

したが、部員全員で一つの目標に向かって練習したことは貴重な経験となりました。

みえ高文祭では他校の方やスタッフの方が親切に対応してくださったおかげで、落ち着いて舞台上上がり満足できる演奏をすることができました。

また、三月には中・高合同で津市民音楽祭に出演させていただきました。中学一年生から高校二年生までが全員で協力して計二十七名での迫力ある舞台を作りあげることができました。

箏曲部は分からない事を気軽に相談できる先生、部活動の話だけでなく学校生活の話等も楽しく語り合える仲間たち、優しくフレンドリーな先輩のいる温かい雰囲気の中、今年も新しい部員を迎え、コンクールに向けて頑張っていきたいと思ひます。

【中学バレーボール部】  
 私たち中学バレー部は、現在3年生2名、2年生5名、1年生7名、14名で活動しています。チームの目標は県大会出場です。

ほとんどの部員が中学からバレーボールを始めました。その為、入部当初はボールの投げ方受け方の練習から始まります。体を上手く使う練習を繰り返し行い少しずつ「バレーボール」に近づけていきます。ルールもわからない状態からのスタートですが、練習を重ね練習試合をしていく中で、サーブが決まるようになり、スパイクが決まるようになり、上達しているのが実感できます。中でも、相手の攻撃を仲間が拾い繋ぎ、決めた1点はとても嬉しいです。バレーボールは1球を落とさないよう拾い、次に触る人が扱いやすいように思いやりを持ってパスします。

ボールは自分の気持ちをも繋ぐので試合で自信を持ってプレーできるよ  
う練習に励んでいます。

7月に今チーム最後の大会があり  
ます。練習試合では、今まで勝てな  
かったチームにも勝てるようになっ  
てきました。1年間の練習の成果を  
発揮してきます。

■中学サッカー部

ぼくは、中学校に入ってから、サッ  
カーを始めました。小学校ではソフ  
トボールをやっていたので、サッ  
カーの経験がなく、少し不安はあり  
ました。三年生の兄もサッカー部に  
いったので、自分も頑張ればでき  
ると思いました。

いざ、練習が始まると、やっぱり  
経験者との壁は厚く、なかなかうま  
くなりません。試合に出してもらっ  
ても、いい仕事ができません。少し  
あせった時期もありました。

三年生になって、ぼくはキャプ  
テンをすることになりました。当  
然、プレーではよく上手い人は  
たくさんいます。そのなかで、キャ  
プテンとして自分に何ができるか考  
えました。まず、周りから信頼され  
るように、自分のやらなければなら  
ないことをきちんとやること、そし  
て、チームのみんなをつないでい  
きたいと思いました。みんなが元気に  
なるよう声をかけようと思っていま  
した。時には厳しく注意をしなけれ  
ばならないこともありました。試合の  
ときは、みんなの気持ちをひとつに  
するために、チーム全体をみながら、  
声をかけ続けています。相手に先制  
されたり、自分が疲れてきたりする  
と、周りが見えなくなり、正しい判  
断ができなくなります。声かけもで  
きなくなり、とても辛いです。  
三年間、クラブを続けてきて、一  
番よかったのは、最高の仲間に出

れたことです。練習中に、意見が分  
かれて対立することもありました。分  
割けにうまくコミュニケーション  
がとれず、気まづくなってしま  
うこともありましたが、中学校  
生活の多くの時間を共に過ごし、一  
緒に喜び合ったり、悔しがったりし  
てきた仲間とのつながりは強く、自  
分にとってかけがえのないもので  
仲間がいてくれたから、ここまで  
頑張ることができたのだと思  
います。

いよいよ残すところ一ヶ月です。  
夏の中体連に向けて、一年生から三  
年生まで、チーム一丸となり、悔  
いが残らないよう、頑張っていきた  
いと思います。チームのみんなが  
サッカー部でよかったと思えるよう  
に・・・。

■中学なぎなた部

【主な戦績】

・平成27年度三重県なぎなた選手権  
大会(平成27年4月26日 三重武  
道館)  
中学生個人の部  
3位 脇田 江梨 3e

【活動報告】

現在、12名で活動しています。先  
日行われた県選手権の結果、選考会  
において直田李穂2aが個人戦、中  
尾桜子2c・長田梨奈2e組が演技、  
中尾・直田・長田が団体戦の三重県  
代表として7月18・19日に長崎で行  
われるJOCジュニアオリンピックク  
アップ全国中学生なぎなた大会に出  
場することが決まりました。今年は一  
年生中心のチームですが、団体で  
の入賞を目指して頑張りたいと思  
います。又、8月には日本武道館で行  
われる全日本少年少女武道錬成大会  
なぎなた競技の部に参加いたします。  
こちらも二年連続の3位入賞を目標

にし、がんばりを重ねたいと思いま  
す。 顧問

■中学バスケットボール部

中学バスケットボール部は、男子  
18人(3年生6人・2年生5人・1  
年生7人)、女子16人(3年生6人・  
2年生7人・1年生3人)の計34人  
の部員と3人の顧問(真岡康光・川  
口裕美子・武内見暁)で活動してい  
ます。

バスケットの技術だけでなく、粘  
り強く最後まで頑張る心を身に付け  
ることを最大の目標としています。  
これからも応援のほど、よろしくお  
願ひいたします。

■中学卓球部

私たち卓球部は、男子部員五十二  
名、女子部員二十八名の計八十名で  
活動しています。うち二十七名は今  
年度迎えた新入部員であり、上級生  
と共に筋トレや素振り、ラリー等を  
しています。また、二、三年生は春  
と夏に行われる中体連へ向けて、試  
合形式の練習もしています。

活動後には、先輩、後輩共に雑談  
するなど、とても仲が良く、明るい  
部活です。

昨年度は、津ライオンズクラブ杯  
争奪卓球選手権大会(男子Ⅱ部)第  
3位、鎮江杯争奪卓球大会(個人・  
松岡慧吾)ベスト8の成績を収める  
ことができました。

今後とも、良い結果を目指して努  
力をしていくので、応援よろしくお  
願ひします。

■中学茶道部

茶道部ではお抹茶やお菓子を楽し  
みながら日常の礼儀作法を学んでい  
ます。

活動は毎週月・水・木曜日に三号  
館一階の茶室で、お抹茶をたてたり  
お点前の練習をしたりしています。



長期休暇では先生が一人一人お点前  
の作法や袱紗のたたみ方などの稽古  
をつけてくれます。

また、文化祭ではお茶会を開いて  
おり、浴衣を着てお点前をします。  
学年関係なく楽しく仲良く活動して  
います。文化祭に向けて上手にお点  
前ができるように頑張っています。

■高校硬式野球部

私たち高田高校硬式野球部は、多  
くの方々を支えていただきながら  
日々活動しています。家族をはじめ  
支えていただいているすべての方々  
への感謝の気持ちを大切にしていま  
す。

今年のチームはなかなか大会で思  
い通りの結果を残すことができず、  
何度も悔しい思いをしてきました。  
悔しくて、苦しくて、辛くて何度も  
立ち止まってしまふことがありまし  
た。そのような時、ふと振り返って  
みると必ずそこには支えてくれる人  
がいました。そっと背中を押してく  
れる家族がいました。そして、私た  
ちの周りには同じように苦しむ仲間  
がいました。

一人では野球はできないこと。一  
人では、決して前には進めないこと  
そして、今ここで野球をやらせても

らっていることは当たり前ではない  
こと。日々、そのようなことを胸に  
とどめながら活動しています。

支えていただいているすべての  
方々への感謝の気持ちを忘れずに、  
夏の選手権大会では、夢舞台への切  
符を全員で掴みとりにいきます。

マネージャー 堀内 優花

■高校ソフトテニス部

こんにちは。高校女子ソフトテニ  
ス部キャプテンの大石智香です。現  
在男女総勢52名真っ黒になって日々  
練習に打ちこんでいます。

部員の日焼けとともに日々内容が  
濃くなってきているのが、「日誌」  
です。女子に代々受け継がれている  
このノートも年度始めに比べるると  
分熱い思いが書かれるようになって  
きました。その日の練習を振り返り  
頂いたアドバイスを自身の反省、そ  
してこれからの繋がりの前向き言葉  
など、まさに「自分だけの教科書」  
を作り上げているようです。そして  
各々がその教科書から持ちよって  
きた高田ならではのチームワークの  
良さは、他のどの高校にも負けない  
と信じています。

毎日指導して下さる顧問の先生方  
や、時折顔を見せて下さる先輩方へ  
の感謝の気持ちを胸に、全力を尽く  
してきた大会の数々はかけがえのな  
いものとなっています。

先輩方におかれましては、お忙し  
い毎日とは存じますが、ぜひ高田の  
コートにお立ち寄り下さい。皆様が  
部員だったころの楽しくほろ苦い思  
い出話や、叱咤激励のお言葉を、部  
員一同お待ちしております。

■高校硬式テニス部

硬式テニス部は今年度、男子45名・  
女子16名でスタートしました。学校  
のコートと高田短期大学のコートに  
分かれて、日々、楽しみながら練習

クラブ名	成	績
卓球部	男子中学校Ⅱ部	1年d組 三村 歩夢 1年d組 宮本 英明
	第26回 鎮江杯争奪卓球大会	
クリケット愛好会	男子中学生Ⅱ部	敢闘賞 1年b組 松岡 慧吾
	日本15歳以下クリケット選手権大会	
科学部	ベストイレブン	3年d組 北村 成世
	第11回中学校技術・家庭科創造アイデアロボットコンテスト三重県大会	
書道部	応用部門 アイディア賞	3年d組 高橋 優太
	第35回三重県小中学校書初め展	
	特別賞 イオン賞	1年e組 瀬戸 真優美
	特別賞 学校給食賞	2年b組 西山 真由
	特別賞 三書研賞	3年c組 山守 直美
	第52回J A共済小中学生書道コンクール	
	J A共済連三重本部長賞	1年e組 瀬戸 真優美
	谷川ことすが書道コンクール	
	入選	3年c組 山守 直美
	入選	1年a組 山守 昌昭
個	三重県中学校水泳競技大会	
	男子200m背泳ぎ	第3位 3年a組 吉崎 友真
	女子200m背泳ぎ	第8位 3年c組 中川 純佳
	第65回三重県中学校学年別水泳大会	
	男子3年生100m背泳ぎ	第3位 3年a組 吉崎 友真
	女子3年生100m背泳ぎ	第4位 3年c組 中川 純佳
	JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト	
	学校賞	
	中学生の部 審査員特別賞	1年b組 内山 はる香
	中学生の部 国内機関長賞	2年a組 大野 杏夏
表	中学生の部 青年海外協力隊	
	O B会会長賞	1年e組 小澤 高果
	第35回「全日本中学生水の作文コンクール」	
	佳作	1年a組 前田 百香 1年c組 中道 柚希 1年e組 永納 綾香 1年e組 宮本 蓮 2年e組 宮本 匠
	土砂災害防止に関する作文	
	国土交通事務次官賞	1年c組 鈴木 花梨
	第14回読書感想文「こころの木」	
	「こころの木」賞	1年c組 守屋 鳳人
	田辺聖子文学館ジュニア文学賞	
	小説部門中学校の部	佳作 1年c組 高木 美早
彰	税についての作文	
	津市教育委員会賞	3年e組 館 実優
	優秀賞	3年a組 石井 志織
	津税務署長賞	3年e組 越智 幸乃
	第52回中学生作文コンクール	
	都道府県別生命保険文化センター賞	1等 2年a組 那須 健人 2等 2年c組 山本 豪 2等 2年a組 大屋 周作 2等 1年c組 中道 柚希 佳作 1年d組 中谷 美波
	第34回全国中学生作文コンテスト	
	奨励賞	3年d組 鈴木 隆吾
	優秀作品	3年d組 鈴木 隆吾 3年b組 林 美佑 3年c組 松本 采子 3年b組 山中 萌奈
	健康に関する作文	
佳作	1年b組 松永 鈴 1年a組 大本 詩織 1年a組 足立 大和 1年a組 伊藤 夏那太 2年e組 加藤 彩香	
部	一行詩「い・の・ち」	
	中学2年生の部	金賞 2年b組 岡田 佳子 銅賞 2年d組 山森 日菜
	高宮宮杯(たかまどのみやはい)	第66回全日本中学校英語弁論大会三重県予選
	最優秀賞	3年b組 稲葉 雅紀
	第19回 約束(プロミス) エッセー大賞	
	学校賞	
	中学高校生特別賞	1年c組 鈴木 花梨
	第42回読書会	
	特等	1年a組 山守 昌昭 3年c組 山守 直美
	第82回全国書画展覧会	
筆都(ひつと)大賞	3年c組 山守 直美	
金賞	1年a組 山守 昌昭	
部	第47回 東海北陸中学生スキー大会	
	ジャイアントスラローム競技	優勝 3年b組 西井 比呂
	スラローム競技	優勝 3年b組 西井 比呂
	全国中学校スキー大会 三重県予選会(三重県中学生大会)	
	ジャイアントスラローム競技	優勝 3年b組 西井 比呂
	スラローム競技	優勝 3年b組 西井 比呂
	みえスポーツフェスティバル	
	ジャイアントスラローム中学女子	優勝 3年b組 西井 比呂
	第16回シヨパン国際ピアノコンクール in ASIA	
	豊橋地区大会中学生部門	銅賞 3年a組 佐藤 穂奈美
第24回日本クラシック音楽コンクール三重県・愛知県本選会		
優秀賞	3年a組 佐藤 穂奈美	
第20回みえ音楽コンクール		
ピアノ部門 中学の部 奨励賞	3年a組 佐藤 穂奈美	
中学生エネワングランプリに挑戦! 2014		
中学生部門	優勝 2年d組 西山 空登	
第2回 科学の甲子園ジュニア 三重県予選大会		
第3位	1年e組 小澤 高果 1年e組 川本 岳史 1年e組 中村 洸文	

## クラブ成績表 (中学校)

### 平成26年度分

クラブ名	成	績
陸上	2014春季親善記録練習会	
	男子4×400m R	優勝 丸山、和田、野呂、垣本
	男子3000m	優勝 3年c組 野呂 光希
	男子1500m	優勝 3年c組 野呂 光希
	三重リレーカーニバル	
	中学男子3000m	優勝 3年c組 野呂 光希
	津市中学校陸上競技大会	
	男子4×100m	第2位 丸山、和田、野呂、垣本
	男子3年100m	第2位 3年a組 和田 翔吾
	男子3年1500m	優勝 3年c組 野呂 光希
上	男子800m	優勝 3年c組 野呂 光希
	男子200m	優勝 2年e組 丸山 正靖
	男子2年100m	第2位 2年e組 丸山 正靖
	男子1年走り幅跳び	第3位 1年b組 小林 千隼
	男子1年100m	第2位 1年b組 新美 友太郎
	第60回全日本中学校通信陸上競技大会 三重大会	
	男子3000m	優勝 3年c組 野呂 光希
	男子1年100m	第4位 1年d組 下谷 充仁
	第46回鈴鹿市陸上競技選手権大会	
	中学男子4×200m R	第4位 丸山、那須、和田、垣本
部	男子3000m	優勝 3年c組 野呂 光希
	男子800m	第5位 3年c組 野呂 光希
	男子100m	第5位 3年a組 和田 翔吾
	男子400m	第4位 2年e組 丸山 正靖
	男子1年走高跳	第5位 1年b組 小林 千隼
	男子1年100m	優勝 1年d組 下谷 充仁
	第35回三重県ジュニアオリンピック	
	男子A3000m	第2位 3年c組 野呂 光希
	男子C100m	第6位 1年d組 下谷 充仁
	津市中学校陸上競技選手権大会	
男子3000m	優勝 3年c組 野呂 光希	
ソフトテニス部	津市中学校陸上競技大会	
	男子4×200m R	第3位 丸山、那須、和田、垣本
	男子3000m	優勝 3年c組 野呂 光希
	男子800m	第2位 3年c組 野呂 光希
	男子400m	第2位 2年e組 丸山 正靖
	津市中学校駅伝競技大会	
	男子の部	第4位 梅村、中村、奥野、丸山、野呂、川井
	第6区	区間賞 3年c組 野呂 光希
	平成26年度津市民体育大会(第2回記録会)	
	男子3000m	優勝 3年c組 野呂 光希
男子1500m	優勝 3年c組 野呂 光希	
男子400m	第3位 3年d組 垣本 拓馬	
馬術部	第13回津スプリントトライアスロン大会	
	男子	第5位 2年e組 丸山 正靖
	第20回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会	
	三重県選抜として出場	3年c組 野呂 光希
	第35回四日市市長距離選手権大会	
	男子3000m	第2位 3年c組 野呂 光希
	第10回津シティマラソン大会	
	男子5km	第4位 2年e組 丸山 正靖 優勝 3年c組 野呂 光希
	第8回美し国三重市町村対抗駅伝	
	市の部第4区	区間賞 3年c組 野呂 光希
馬術部	みえスポーツフェスティバル 中学生10人テニス大会	
	男子の部	第2位 松山、森口、長谷川、篠浦、世古口、太田、太田、榎谷、玉分、西島、菊池
		第3位 平野、中村、玉分、横山、長谷川、伊藤、藤原、浅野、林、金兒、伊藤
	女子の部	第3位 松岡、西山、小田、新竹、別所、垣本、大黒屋、西井、黒田、近藤、坂野、中谷
	2014春季三重県馬術大会	
	小障害飛越競技C-I	第1位 3年b組 金光 紘也
	小障害飛越競技C-II	第2位 3年e組 杉村 彩香
	STARTER CLASS I	第1位 3年e組 杉村 彩香
	STARTER CLASS I	第2位 3年a組 石井 志織
	STARTER CLASS I	第3位 3年b組 金光 紘也
STARTER CLASS II	第2位 3年e組 杉村 彩香	
サッカー部	2014 みえスポーツフェスティバル	
	小障害飛越競技B	第3位 2年e組 齋藤 希美
	STARTER CLASS I	優勝 2年e組 石原 歩
	STARTER CLASS I	第3位 2年a組 藤山 結衣
	STARTER CLASS II	第2位 2年a組 藤山 結衣
	STARTER CLASS II	第3位 2年a組 松永 夢
	2015新春三重県馬術大会	
	小障害飛越競技C	第2位 2年e組 石原 歩
	名張JYフェスティバル	優勝
	第37回東海なぎなた大会	
試合競技中学女子の部	第3位 3年d組 中道 観月	
全国少年少女武道錬成大会		
中学3年生の部	敢闘賞 3年c組 安井 理緒	
剣道部	夏季総合体育大会	
	男子個人	第3位 3年a組 近藤 弘行
男子団体B	第3位	
柔道部	津市中体連春季総体	
	男子個人60kg級	優勝 2年c組 河瀬 貴哉
女子個人48kg級	第3位 1年e組 飯田 美緑	
卓球部	第15回津ライオンズクラブ杯争奪卓球選手権大会	
	男子中学校Ⅱ部	第3位 1年b組 松岡 慧吾 1年c組 服部 颯太 1年d組 小西 克祈

に励んでいます。

今年度も、たぐさんの1年生が入部しました。普段の練習では、2・3年生が中心になり、後輩部員に基本的な練習を指導しながら、お互いの力を伸ばし合っています。

7月には、8月から行われる大会の予選があるので、日々の練習やトレーニング、他校との練習試合を通じて、一人ひとりがそれぞれの目標達成に向けて努力してほしいと思います。

■高校陸上競技部

皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。私たち陸上競技部は男女で部員70名からなる本校で最多数になる運動部です。その活動は、高校から陸上競技を始めた選手も多く、自己記録の更新に努力している選手から、トラック&フィールドや駅伝において東海・全国大会において活躍する選手までいます。

また、各種別(短距離・跳躍・中・長距離競歩、投擲)ごとにパトリガーが中心となり選手主体の活動をしています。今シーズンは昨年以上の結果を残すことを絶対目標として、個人としてもチームとしても冬季練習からトレーニング量を増やし春のトラックシーズンに向けて取り組んできました。

国体予選、春季大会と順調な滑り出しでしたが、県高校総体では全体として納得のいく結果を残すことができませんでした。今年の三重県のレベルが例年になく高かったことで最後の勝負で競り勝てない場面が多くありました。一番とってはいい順位(2・4・7・9位)が多く選手達には辛く、悔しい思いをさせてしまいました。ただ努力を重ねるだけでは達成感を味わえないこと。怪我の怖さ、ピーキングの難しさ、そして100%でなく120%を出

せる心の強さを持たせる指導と指導者の器を持っていかねばならないことを学ばせてもらいました。この経験と思いを新チームに引き継ぎながら横断幕にある「全力勝負 高田高校陸上競技部」のもと必死に励んでいきたいです。

今後とも、さらなるご指導、ご支援の程よろしくお願ひ申し上げます。

第45回三重県高等学校陸上競技

男子5000m 優勝 春季大会

6年b組 片山 優史

400mハードル 準優勝

別所 剛匠

1500m 第6位

6年b組 片山 優史

5000m競歩 第7位

II年A組 乙部 佑真

800m 第8位

III年5組 松島 奨

女子5000m競歩 準優勝

III年B組 山本 佳那

4x100mリレー 第7位

III年1組 前田 佳奈

III年5組 津波 佑美

III年6組 山本 希羽

II年4組 川出 真歩

第65回三重県高等学校総合体育大会

陸上競技の部

男子1500m

第4位 片山 優史

6年b組 片山 優史

5000m II年A組 愛敬虎之介

400mハードル 片山 優史

III年5組 別所 剛匠

5000m競歩 第7位

II年A組 乙部 佑真

800m 第8位

III年A組 古川 翔太

女子5000m競歩 準優勝

III年B組 山本 佳那

4x400mリレー 第7位

III年1組 前田 佳奈

III年5組 津波 佑美

III年6組 山本 希羽

I年2組 早川 奈那

高校総体に出場

■高校水泳部

こんにちは。高校水泳部です。現在、III年生6名、II・5年生4名、I・4年生4名で活動をしています。練習内容としては、5月半ばから9月までは学校のプールを使い、その他の時期は、学校の陸上トレーニングを1時間程度行った後、各自所属するスイミングスクールで水中練習をしています。現在は、学校のプールが使えない時期も毎日水中練習の場所が確保できる人のみを募集しています。

大会成績としては、平成26年度三重県高等学校選手権水泳競技大会において創部初の女子総合優勝という輝かしい成績を収めることができました。今年も連覇を狙っていきます。男子も総合3位を目指して頑張っています。昨年度は、男子8名、女子10名が個人、リレー種目で東海総体に出場することができました。また、女子1000m平泳ぎにおいては、7位に入賞することができました。惜しくも全国大会標準記録突破はなりませんでしたが、県大会、東海ブロック合宿、県外の試合にも積極的に出場するなど、この1年間様々な経験を積んできましたので、今年度の活躍が期待されます。また、昨年度は

東海選手権水泳競技大会の三重県代表として、男子1名、女子4名が選ばれました。更に、全国ジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会に男子50m自由形で出場、第69回国民体育大会に女子1000m平泳ぎで出場した選手もおり、今年度は久しぶりに全国総体への切符を手に入れることができるのではないかと思います。

チームとしての目標だけでなく、個人の目標も達成できるように、先輩方の意志を受け継ぎ、チーム一丸となって頑張っていきますので、応援のほど、よろしくお願ひいたします。

■高校バレーボール部

女子バレーボール部は、I年生9人、II年生4人、III年生10人の計23人で活動しています。

私たちの目標は、拾って・繋いで、どんなボールでも1点にするに尽きます。目標が達成できるように、辛い練習でも、みんなで支え合って、励まし合って頑張っています。

私たちは、弱気は最大の敵。をモットーに、自分に負けそうになっても、勝ち勝てるように、1人1人が自分と戦い、そして1つの強いチームになれるように、日々、練習をしています。

男子バレーボール部は、III年生10人、II年生8人、I年生7人、マネージャー15人の計30人と顧問の先生3人で日々活動しています。私たちのチームの半分のメンバーが高校からバレーを始めたメンバーで、そんなチームだからこそ日々の練習の中で個人のスキルを磨き、チーム全体の結束力を高めて、一日一日の練習を大切にしています。バレーだけではなく、「文武両道」という言葉を第二のチーム目標として、勉強の方でも、日々奮闘しています。

四月になり新しいメンバーが増え

たチームで、最高の仲間とバレーができる事に感謝し、一戦一戦大切に戦います。

■高校ハンドボール部

現在ハンドボール部は、男子三十二名、女子十九名で活動しています。昨年十一月に行われた新人大会では、男子は、予選リーグで桑名高校・稲生高校に勝ち、四郷高校に破れた結果、決勝トーナメントに進出することができましたが、一回戦で四日市高校に敗れました。女子は、予選リーグで津西高校・四日市西高校に勝ち、いなべ総合学園に破れた結果、決勝トーナメントに進出することができましたが、一回戦で川越高校に敗れました。

昨年十二月に行われた選抜大会では、男子は、予選トーナメントで名張西高校に勝ったのですが、川越高校に敗れました。女子は、予選トーナメントで四日市商業高校に敗れました。

先日行われた県総体では、女子は、四日市南高校に勝ちましたが、名張西高校に敗れ、第5位入賞となりました。男子は、白子高校・桑名工業・名張桔梗が丘高校に勝ったのですが、準決勝で四日市工業高校に敗れました。三位決定戦で四日市西高校に勝ち、第三位で東海高校総体出場を決めました。男子は久々の東海大会出場となり、練習のほうもさらに活気づいているところです。

卒業生の皆様、もし時間を作っていただくことができましたら、是非高田高校グラウンドまで足を運んでいただきたいと思います。



■高校なぎなた部

【主な戦績】

・平成26年度東海高等学校総合体育大会なぎなた競技

(平成26年6月 愛知)

団体の部 優勝

(紀平・大萱・阪・樋口・渡辺・渥美・北原)

個人の部 2位

二連覇

・平成26年度全国高等学校総合体育大会なぎなた競技

(平成26年8月 東京武道館)

団体の部 5位

・第10回全国高等学校なぎなた選抜大会(平成27年3月 兵庫)

男子個人の部 ベスト16 柴山 裕至

・平成27年度三重県高等学校総合体育大会なぎなた競技

(平成27年5月 高田高校)

演技の部 4位

渡辺絵未里・後藤詩織組

女子個人の部 3位

安井 理緒

男子個人の部 優勝

柴山 裕至

団体の部 2位

(渡辺・後藤・安井・渥美麻奈・中道観月・吉田のぞみ・高林陽菜)

【活動報告】

昨年度は悲願の全国大会団体5位入賞を果たし、大きな成果の得られた一年でした。予選リーグから強豪校のひしめく「死のリーグ」に入り、苦戦が予想されましたが、全員の力を結集し、決勝トーナメントに進出することができました。ベスト4をかけた準々決勝では、予選からの激

戦の疲労が影響し、逆転で惜敗してしまいました。新たな歴史を作ることができたと感じています。多くの卒業生の方に会場まで応援に来ていただきましたこと、心より感謝申し上げます。

本年度は三年生が2人という苦しい状況の中、なんとか選抜大会の出場は果たしましたが、先日の県総体の結果、残念ながらインターハイ出場権を逃してしまいました。もう一度全国の舞台で戦うための第一歩として、東海総体三連覇をなんとか達成したいと考えています。

■高校男子新体操部

顧問記

新体操部です。本年度も部員一同、部活と勉強の両立を目指し、日々練習に励んでいます。普段の練習としては、基礎体力作りを中心に基本的な技はもちろん、高度な技への取り組みも行っています。高度な技を練習する際、一番の妨げになるものが恐怖心です。しかし、それを乗り越えていかなければ、試合でいかにミスなく演技をしたとしても、点数が上がりません。選手たちには、その恐怖心に打ち勝つ精神力も同時に磨いてもらうことを目指しています。

本年度は大阪府で八月に全国高校総体があります。昨年度、一年生ながら個人総合第3位の成績を修めた堀孝輔くんは、優勝を目指し体面、技術面での課題にとりくんでいます。また、今年3月に広島県で行われた全国選抜大会では個人総合第4位となり、11月に東京で行われる全日本選手権の出場権も二年連続で獲得しました。もちろん、その他の部員も全国高校総体の枠を虎視眈々と狙っています。お互いがライバル心を持ちそれぞれ課題を克服していき、誰が出場しても良い結果を期待することができそうです。

最後になりますが、新体操部OB

の皆様の心暖かな応援ありがとうございます。今後も、各種大会において、審判等をお願いをさせていただくとありますが、その際はよろしくお願いします。また、お時間がありませんら、部活動や大会を見に来ていただきたいと思います。

■高校バドミントン部

私たち高校バドミントン部は、男子二十四人、女子二十一人の計四十五人で活動しています。

昨年度は女子が個人戦、団体戦で第三位に入賞し、東海大会に出場するなど、良い結果を残すことができましたが、先日おこなわれた三重県高等学校総合体育大会バドミントン競技兼全国高等学校総合体育大会県予選会では、男子が団体の部において創部以来初の第三位入賞しました。今年度は、男女共に個人戦での入賞、団体戦はベスト4以内、そして東海大会、全国大会出場を目標に、顧問である齋藤先生、奥田先生の指導のもと、日々厳しい練習に励んでいます。

普段は高田短大の体育館を借りて練習しています。人数が多いのでコートに入って練習できる時間は限られていますが、トレーニングやフットワークなどの基本練習からノックやバターン練習などの応用練習まで、一つ一つ集中して練習しています。

決して練習環境が良いとは言えませんが、それをマイナスに捉えるのではなく、そのときにできることに集中して、常に全力で取り組んでいこうと思います。そして、目標達成に向けて、顧問の先生、外部コーチの方々はもちろん、一緒に練習している仲間や応援してくれる家族や友人への感謝の気持ちを忘れず、ひたむきに努力していきたいと思えます。

■高校ソフトボール部

ソフトボール部は3年生7人、2年生4人、1年生10人の計20人で活動しています。「応援してもらえチームになること」が私たちのモットーです。日頃の行いがプレーを左右するという考えを私たちは大切にしています。ですから、技術面のみならず、普段の学校生活のさまざまな点について、先生からいただくアドバイスをとても重要です。顧問の先生は、礼儀作法や挨拶、制服の上手な着こなし、掃除の仕方などを教えてくださるだけでなく、進路や進学との相談にも乗ってくださいます。

毎日の練習は、とても活気があり、笑顔も一杯です。楽しく練習することも私たちが大切にしている練習姿勢です。平日は2、3時間を目安に、基本練習をしています。人数が増えてきたので幅の広がった練習ができることを何よりもうれしく感じています。休日は練習試合が中心です。他校のプレーや取り組みから学ぶことも多く、どのようにベストパフォーマンスをするか、また、どうやったら出来るかを探しながら練習に取り組んでいます。

4月の春季大会(於、鈴鹿河川敷、初戦の亀山高校戦では、初回から打線が繋がって、勝ちを収めることができました。しかし、要所でミスが続き、力不足と感じる試合でもありました。2回戦はシールド校である松阪商業高に對し、初めて先制点を奪うことができました。しかし、シールド校の壁は厚く、12対1とコールド負けという結果でした。

5月の高校総体予選(於、宇治山田商業高校)は、1回戦いなべ総合高校に對し初回先制点を奪うも、8対1と敗れました。2年連続の熊野行きは叶いませんでした。3年生にとっては、最後の試合となりましたが、ソフトボール部で学び、そ

して培った数々のことをこれからの人生に生かしていきたいと考えています。

■高校軟式野球部

軟式野球部は、創部5年目を迎え、文武両道をモットーに日々練習に励んでいます。

昨年度は、夏季大会決勝戦は延長15回の接戦を制しBゾーンで優勝、秋季大会でも優勝を果たし、夏・秋と東海大会へ出場しました。

厳しい冬の練習に耐え抜き、体力・精神力を向上させ、一段と強いチームになることができました。2021年に三重県で開催される国体に向けて高田高校軟式野球部が強化指定校に選出され、より一層熱心に練習を積み重ねています。そうしたなかで迎えた第65回三重県高等学校総合体育大会軟式野球競技では、悲願の春季大会初優勝を果たし、6月20日から静岡県草薙球場で行われる東海大会に三重県代表として出場することが決まりました。過去4度の東海大会は、いずれも初戦で敗退し悔しい思いをしていました。

5回目の東海大会!今年こそ東海大会での勝利を目標にチーム一丸となつて戦います。軟式野球部に熱い声援をよろしくお願いします。

■高校バトン部

私たちバトン部は三年生二人、二年生十五人、一年生十八人の計三十五人で活動しています。私達の活動は、夏の高校野球大会のスタンドでの応援、秋の文化祭体育館発表、十一月と六月のダンスドリル大会、十二月のバトンタワーリング大会が中心です。昨年は野球部が三回戦まで進みましたが、応援する私達もとても熱くなり、選手と心をひとつにし

て応援を楽しめたことは素晴らしい思い出になりました。

しかし三年生が二人しかいなかったことは、何かを相談する時も、下級生に指示する時も、全て二人で進めていかなければならず、とても大変でした。ですが二年生を交えて相談したり、助けを求めたりしたことで、主体性が高まり、一層皆の絆が深まったように感じています。

また、初めて自分達だけで考える振り付けや衣装は不安も多く、とても悩みました。更に、本番までリハーサル機会が少なく、フォーメーションや早着替えにとっても苦労しました。けれども困難を乗り越えて観客の皆さんと文化祭を創り上げたことにとても感動しました。

現在はダンスドリル大会に向けて練習をしています。部員の気持ちをなかなか一致団結させることが出来ず、たくさん悩みました。それでも、一人一人の気持ちを聞き、皆で話し合うことによって、それぞれの思いが変わり、「全国大会」という大きな目標ができました。

まだまだ課題は多いですが、今まで支えてきてくれた方々に感謝の気持ちを持たず、最後まで部員一丸となって全力を尽くしたいと思えます。応援よろしくお願致します。

(ⅢB 加藤 未来)

■高校サッカー部

高田高校サッカー部顧問 若林 広繁

高田高校サッカー部は、今年度で創部22年目を迎えることになりました。サッカー部員の生徒達も恵まれた環境の中で、毎日一生懸命ボールを追いかけて、汗をかき、充実した学校生活を送ることができています。

近況報告として、昨年度の成績は3部リーグに優勝し2部リーグに復

帰しました。また、三重県高校選手権大会ではベスト16、三重県選抜大会ではベスト8という成績でした。

今年度の三重県高校総体予選では、残念ながら2回戦で宇治山田商業高校に敗退してしまいました。昨年度の三重県選手権優勝に怯まず闘う選手達の姿に成長を感じることができました。しかしながら、選手達は2回戦敗退という悔しさを痛感し、今後更なる成長を遂げていくために必要なチームの課題に日々取り組んでいます。Ⅲ年生は受験勉強のため、17名が引退しましたが、Ⅱ年生16名、Ⅰ年生27名の計43名で新チームがスタートしています。現部員達は先輩たちの残してくれた伝統を大切に受け継ぎながら、6月から再開する2部リーグに向けて、新たな記録を築き上げるため、チーム一丸となって練習に励んでいます。今年度は、高田短期大学に女子サッカー部が創設されたこともあり、高校男子サッカー部も活気に溢れてきました。今後さらに好成績を残していきたいよう指導に励んでいきたいと感じています。

本学サッカー部は、誰からも応援されるチームになるため、チームの一員として何事も全力で勝ちにいく闘う姿勢、他者を思いやり感謝する気持ち、そして生涯サッカーを愛し続ける気持ちを大切にしながら、「全員サッカー」を発揮できるチーム作りを目指しています。高田高校の一員としての誇りを持ち、いつその努力を忘れず、部員指導者共々日々精進していきますので、今後ともご支援ご協力よろしくお願致します。

■高校家庭部

家庭部はお菓子作りを主として活動しています。

文化祭や寺内町祭りといった場でお店を出し、作ったお菓子を販売し

ています。パウンドケーキやシフォンケーキの他にホットサンドやスープレムも出品し、毎年2〜3時間ほどで売り切れてしまうほど人気です。

「おいしかったよ。」  
「来年も楽しみにしているね。」  
などの声を聞いた時はとても嬉しく、校内の人や地域の人とのつながりを持って、とても嬉しく思います。

毎年違ったことにチャレンジし、借菜公園に自分たちで作ったお弁当を持ってお花見に行ったり、卒業製作の一環としてカフェを開いて自分たちのお世話になった方へ料理を振る舞ったりしました。

多くの部員と協力、試行錯誤して作る一つ一つの料理やお菓子が、練習を積み重ね、学年が上がるごとに成長していくことができます。先生方からのご指導もあり、技術以外にも、たくさん食事を学ぶことができ、たくさん食糧が余って処分しなければならなかった時は食材の大切さを考え、お店を出す時の人をもてなす心を学び、人と協力することやそのような時間の大切さを食を通じてたくさんの人と関わることで学びました。

■高校仏青インターアクト部

仏青インターアクト部の活動について

私たち仏青インターアクト部は、現在1年生11名、2年生6名、3年生7名の24名で、毎月行われる本山参詣や仏教行事を中心にお手伝いをしています。そして、学校内や町内の美化活動も行い、プランターに花を植えて、校内やJR一身体駅に置いています。募金活動では、赤い羽根共同募金や災害支援募金などに参加しています。他には、年末に慈光院(老人ホーム)へ行き、清掃活動もしています。また、津北ロー

タリークラブの方々にもお世話になり、三重県や岐阜県のボランティア活動をしている高校生たちと交流をしています。今年も韓国でホームステイをさせていただきました。

特に印象に残っている大きな活動としては、夏休みに高田本山専修寺で小学五、六年生を対象に行われた「歴史まるごと体験塾」(津市教育委員会主催)のお手伝いです。それは、食堂へいきどうに二泊三日で宿泊し、寺内町の歴史を学び、昔の遊びや和菓子作りなど体験するものです。

また、高田本山宗務院で行われる「花まつり」や「中学強化合宿」等では、レクリエーションを担当しています。「花まつり」では、幼稚園から小学生まで、「中学強化合宿」では、中学生が参加の対象です。ゲーム内容の説明は、私たちが考えますが、思うように伝わらず、うまく進まなかったことも何度かありました。その年代に応じた言葉の使い分けがとても難しく感じました。しかし、色々な年代の子も私たちの交流は、とても楽しく、子どもたちとの接し方を学びました。

この部活動では、子どもたちからお年寄りまでたくさんの方々と接する機会をいただきました。この経験は、一生忘れられない貴重なものとなっています。これからも、多くの人のためにボランティア活動を行い、喜んでいただけるよう努力していきたいと思えます。

■高校将棋部

4月26日に行われた第51回全国高等学校将棋選手権大会三重県予選において、高田高校は女子団体戦で優勝し、滋賀県で行われた全国大会への出場権を獲得しました。

将棋部は、放課後2時間ほどの練習を毎日行っています。中学生、高校生の区別もなく大会に向けて実戦

中心の練習を行い、対局後についてはお互いの良かったところや、悪かったところなどを確認しながら試合で勝つことを目標に練習に励んでいます。今年度は女子部員もたくさん入部し、基本から学んでいます。また、土日には他の学校の生徒たちと練習試合を行うなど、棋力の向上に向け努力を重ねています。

■高校放送部

放送部は、平成二十六年第六十二回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会に、アナウンス部門、朗読部門、ラジオドラマ部門の各部門、創作ラジオドラマ部門の各部門に出場を果たし、大きな成果を得ることができました。また、第三十八回全国高校総合文化祭茨城大会では、オーディオピクチャー部門で審査員特別賞を受賞し、第三十四回近畿高等学校総合文化祭では、アナウンス少部門で優秀賞を受賞しました。

部員数も三十名を超え、活動も活発になり、アナウンス、朗読、番組制作と多角的に取り組んでいます。毎日昼休みには、「お昼の校内放送」を行い、リクエスト曲を流したり、朗読を行ったり、校内のニュースを伝えたりしています。さらに、生徒会直属の部として、学校行事や生徒会行事でも準備や運営にかかわっています。特に、体育祭や文化祭では司会進行を務めたり、記録映像を撮影したりしています。

放送部での活動で、アナウンスや朗読を通して、部員それぞれが自己の表現力の向上や伝えることや話すことに真摯に向き合っています。またテレビやラジオの番組制作での取材や編集を通して、コミュニケーション能力や企画力の向上実践を行っていきます。

このように、高田高校放送部は部員一同お互いに協力しながら、それ

それぞれの活動を支えあっています。すべてのお世話になった方々への感謝の気持ちを忘れずに、この良き伝統を受け継いで、さらに発展していくよう努力を続けたいと思います。

■高校生花部

【活動報告】  
生花部は、現在三年生十名、二年生七名、一年生二名の計十九名で活動しています。

昨年度は毎週月曜日のお稽古以外にも多くの活動に参加しました。

九月に名古屋で行われた「花の甲子園東海地区大会」にチーム名「菩提樹」でエントリーし、校長先生のお宅の菩提樹を切っていたいけ込みました。残念ながら予選で敗退しましたが、作品もスピーチも練習の成果を十分発揮することができました。

十月には、いつも教授いただいている小林滋子先生の喜寿記念の花展「小林滋子と社中展」に二、三年生が出展しました。作品は、野田唐峯先生の「くらしの自由花アイデア」をもとにしたもので、池坊雅史様を始め、多くの方々に見ていただきました。

三月には、三重県総合文化センターで開かれた池坊津支部いけばな池坊展「学校華道・伝統文化こども教室作品展」に出展し、これもまた多くの方々に見ていただきました。これからも、一生懸命お稽古に励んでいきたいと思っています。

■高校文芸部

【活動報告】

文芸部は、高校文芸部員十六名と中学文芸部員十一名とが一緒に活動しています。

高校文芸部は、昨年第三十八回

第65回三重県高等学校総合体育大会 結果

平成27年5月29日(金)～5月31日(日)

Table with columns: 部名, 競技, 年組, 氏名, 成績, 東海, 全国. Rows include Softball, Badminton, Table Tennis, Handball, and Track & Field.

Table with columns: 部名, 競技, 年組, 氏名, 成績, 東海, 全国. Rows include New Physical Education, Soccer, Fencing, and Softball.

第26回全日本高等学校馬術選手権大会 東海地区予選 平成27年5月31日(日)

Table with columns: 年組, 氏名, 成績. Row: 6 a 亀井 大志 優勝 全国大会出場

全国高等学校総合文化祭茨城大会に、短歌部門と俳句部門の二部門で県代表に選ばれて参加しました。また、第九回全国高校生短歌大会（盛岡短歌甲子園）に初出場するなど、積極的に活動を行いました。今年度は、第三十九回全国高校総合文化祭滋賀大会文芸部門の詩部門、短歌部門、俳句部門の三部門に出場します。

普段の活動としては、フリーパー「ふち木馬」を毎月発行、「零改」と『高田文学』を年一冊発行している他、中高生徒会が発行する『木馬』の編集を行っています。

今年、その『木馬』が七十号を迎えます。そこで七十号を記念した特集ページの作成を企画しています。文芸部に限らず、卒業生の方で『木馬』にまつわる思い出やエピソードなどをお持ちの方は、ぜひ原稿をお寄せください。原稿は八百字以内のエッセイ、詩など一人一編までで、卒業年と名前と住所を明記してください。『木馬』には、卒業年と名前を掲載いたします。なお、原稿は文芸部顧問 (minoda\_akiko@mie-takada-hi.edu.jp)宛に word または太郎ファイルで、件名に「木馬原稿」と書いてお送りください。データでお送りいただくことが難しい場合は、高田高校文芸部顧問宛に原稿を郵送してください。締め切りは十一月末日です。

さらに、平成二十八年三月十九日（土）午前十時より、木馬七十号発刊記念パーティーを高田会館で開催する予定です。原稿をお送りいただいた方には案内状を郵送いたします。詳細、申し込み方法につきましては、今後本校ホームページに掲載する予定です。ご覧ください。

文芸部は、これからもますます積極的に活動していきたいと思っております。

### 乙部満生先生 八段昇段祝賀会

平成二十七年六月二十日 プラザ洞津

高校昭和三十八年卒、昭和四十二年より母校高田中・高等学校に勤務され退職後、甲賀医療専門学校校長を務められた、現三重県柔道協会会長乙部満生先生が講道館柔道八段に昇段されました。先生とごく近い柔道部OBを中心とした昇段祝賀会を開催しました。衆議院議員松田直久様（高昭和四十八年卒）、津市スポーツ協会会長長谷川之快様、高田学苑長高臣文祥様、高田中・高等学校長梅林久高様にもご臨席を賜り盛会に祝賀会を終えました。先生の益々のご健康とご活躍をご期待致します。

- 高校昭和四十三年卒業 水谷 博昭
- 高校昭和四十四年卒業 安井 敏明
- 高校昭和四十五年卒業 岡野 英治



### 国際交流委員会

#### 第二十一回

#### オーストラリア交換留学

宇仁田 慎司

三月十三日から十五日間、オーストラリア交換留学プログラムに参加させていただきました。私と玉樹先生は生徒十八名とパレード校へ、村木先生と市川先生は生徒二十三名とセントモニカ校へ、総勢四十五名となりました。

十三日早朝になぎさまちを出発し、セントレアからシンガポールのチャング空港で乗り換えて、十四日早朝にメルボルンに到着。ここまでは順調でしたが、入国審査の際「エボラ出血熱」に関する申告カードの提出が必要という想定外の出来事に大混乱。その際バッグにいれてあった私の「しおり」が紛失し、また生徒のスーツケースが破損するなど、暗雲の立ちこめるスタートとなりました。空港のロビーで両校の先生にお会いできたときは、日本語が通じるといふあたりが、日本語が通じるといふあたりがたさに正直ホッとして力が抜けました。早速バスで両校に移動し、ホストファミリーとの対面を終えると、私たち教員もそれぞれホストの先生と土日を過ごすことに。私をホストしていただいたジョン先生はとても気さくな先生で、片言しか話せない私でもすぐに意気投合することができました。最初の休日は

玉樹先生とそのホストのりサ先生、アダム先生夫妻と一緒に、ダンデノ

ンやルナパークへ出かけました。フライドポテトやピザ、ステーキやハンバーガーなど、とてもポリウムのある食事に驚きましたが、どれも美味しく楽しい休日です。すごすごことができました。

週明けからは多彩なプログラムが用意されていました。月曜日は学校でマグカップ作りと調理実習。生徒が作ったカルポナラは、同じ行程で作ったとは思えないほどそれぞれが個性的な仕上がりが、はじめての英語での授業としてはとても楽しいスタートをくれました。火曜日はサーフィン実習。私もサーフィン

は人生初挑戦。はじめは体力があつたので波に乗ることもできましたが、徐々に体力がなくなり後半はただブカブカと浮いているのが一杯でした。後半になるほど上達する生徒たちの笑顔を見ると、あと三十年早くサーフィンするべきだったと後悔しました。水曜日はメルボルンシティ散策、木曜日はソプリンヒル（金鉱野外博物館）、金曜日はヒルズビル・サンクチュアリー（動物園）と、火曜日から四日連続でのバス遠足というプログラムは、私の体力を完全に奪い取り「息をするのが精一杯」なくらい精も根も尽き果ててしまい、なぜサーフィンなんかに挑戦してしまったのだろうという後悔の念に包まれたまま、ただ時が流れるという感じでした。

動物園から帰ってきてすぐの夕方、二人目のホストのトニー先生の運転でそのままフィリップアイランドへ。そこにはジョー先生のホリデーハウスがあり、パレード校の先生六名が集まって歓迎パーティーを開いてくだ

さいました。ピリヤードやポーカを夜遅くまで楽しみ、美味しい料理を囲んでのトークはもちろんオール英語。この二泊三日の「英語力強化合宿」で私のトークも少しだけ向上しました。のんびり過ごせたおかげで私の体力も回復しました。週明けのその後のプログラムは本当にあつと言った。月曜日は体育などの授業。火曜日はビクトリアマーケットでのショッピングとお別れパーティー。水曜日にはシドニーへ渡り、木曜日は市内散策。金曜日の早朝にセントレアに到着しました。短い期間でしたが本当にいい経験をさせていただきました。最後に、今回のプログラムに多大な尽力を賜った国際交流委員の皆様をはじめ、関係するすべての先生方に厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。



メルボルンシティにて

# 短大だより

## 進路状況と キャリア支援について

キャリア支援センター

平成26年度卒業生の3月末現在の進路状況について報告いたします。

子ども学科卒業生157名の進路先は、幼稚園26名、こども園2名、保育園117名、福祉施設7名、企業4名、家事従事1名でした。幼稚園教諭・保育士の専門職としての就職者は100%で、例年通りの高い就職率となっています。

キャリア育成成人材育成学科オフィスワークコースでは58名が卒業し、卸・小売業17名、製造業9名、金融・保険業6名、医療・福祉4名、学術研究3名等54名が就職し、家事従事者は1名、進学は専門学校1名、未内定2名(うち留学生1名)でした。また同学科介護福祉コースを卒業した24名は、老人介護施設15名、自立支援施設4名、企業2名が就職し、その他家事従事1名、進学者は専門学校1名、未内定1名(うち留学生1名)でした。5月末現在、未内定のまま卒業した学生の3名の内1名が就職いたしました。  
子ども学科への求人は845人(昨年697人)、キャリア育成成人材育成学科オフィスワークコースへは788人(昨年533人) 介護福祉コースへは890人(昨年630人)と2学科2コースで求人増加が見られます。これも各幼稚園、保育園、施設、企業、高田学苑関係者の皆様方のご支援の賜物と深く感謝いたしております。

全国的状況は5月15日現在まだ発表されていませんが、これまでの新聞等の発表では、昨年度より大きく改善されたようです。しかし、本年度から経済団体等の要請により就職活動が後ろ倒しとなり、3月に広報活動解禁、8月に採用活動解禁、10月に内定解禁というスケジュールになっています。本年度の様子では、このようなスケジュールで採用活動を行っている企業は大手のごく一部であり、他の企業については、少しは遅れているものこのままでとあまり変わりなく動いているようです。

今後とも学生一人ひとりの社会的自立を促しながら、現代社会についてリアルな認識を持たせ、働くこと、労働・職業・雇用についての理解を含んだ支援をし、学生の進路希望が実現できるよう引き続き努力していく所存です。

学苑同窓生の皆様におかれましては、今後も学生の進路希望実現のため、ご協力ご助力の程よろしくお願い申し上げます。

## 短大部会だより

北端 一子

短大部会を開催する日を決めるには、出席出来る人数が多い方がいいので、メールにて連絡を取り合っており決めます。職場の都合、家庭の事情によつて違うからです。最終的に五月十五日午後七時になりました。それぞれ出身学科が違います。保育科、教養科、保育科から名称変更で幼児教育学科、オフィス情報学科、人間介護福祉学科です。今では、みんな名称変更してありませんが、中味は同じだと思えます。今の社会情勢に応じた名称に変わりました。

愛着があつたので、少しさみしい気もしますが高田を思う気持ちは同じなのでいいかな？

みんなが集まるまでは、お互いの様子や、健康の事、子供の事、家族の事、職場の事などを話しています。年齢に幅があるので、話が合わない時もありますが、楽しいものです。若い方の考え、経験豊かな年齢の考え方、いろいろ聞くことも大切ですよ。時間が来て揃えば会議が始まります。

議題の一つは、高田短大が設立されたのは、一九六六年です。もうすぐ五十年になります。同窓会として

何か出来ないか課題にいつも上がりませんがなかなか良い意見が出ません。良い意見があれば教えてください。

まだ時間があるので、話し合いたいと思つています。お金があまりかからないようなことは、出来ませんが考えたいと思つています。

次に高短祭参加の内容です。いつも参加させていただきバザーを出しています。会員の方や先生方からの品物を出しています。主に日用品が多いですが、手作りの品も増えてきています。楽しみに待っている方もいますので、続けたいと思つています。品物が少ない年と多い年との時によつて違いますので、遊びに来てください。実際に手に取つてみてください。今年の品物は、いいかな？と選んで下さいね。

また、理事の方への連絡内容の確認を行いました。理事の人数も増えてきましたが、連絡の取れない方も見えて戻ってくることもあります。住所変更の時は、教えてください。手元に連絡物を届けたいですからね。よろしく願ひします。

## 会員だより

四月十八日 四十一年度卒業、全体同窓会が洞津会館「高砂の間」で開催されました。今回の同窓会は卒業後五十年、半世紀、御先生方のご臨席を賜り六十三名が七テーブルを囲い楽しく歓談いたしました。同窓会は二年に一度開いておりますが、年々減少の傾向に変わっております。そこで今回の同窓会は継続を問ひ掛ける会となりました。又、会場の皆様にお伝えさせて頂きました。会は始めに物故者の黙祷、お祈りさせて頂き進みました。御先生方からはエピソードあるご挨拶もありました。和やかに、クラスメイトの話も弾む中、特に、伊勢津組、太鼓の



出逢いを一層深める友

演奏アトラクションでは一層の盛り上げで華を添えていただきました。又、カラオケ、ビンゴゲームでは全員に賞品が当たる楽しい一日となり、友と語り、より深い嬉しい会であった様に思います。

幹事 川本博信

高田高校昭和四十六年三月卒業  
J組・K組・L組三組合同  
クラス会開催

平成二十七年五月三日(日)午後五時から午後七時まで二時間津駅前ホテルグリーンパーク津レストラン・ホールにて

当時K組担任山口淳有先生をお迎えし、総数四十五名参加にて三組合同クラス会を開催いたしました。

卒業以来四十数年が経ちますが今回は第二回目の合同開催であり、およそ二十年ぶりの開催となりました。あえてゴールデンウィークの中

開催を設定したのは、遠方に住んで見える方々が、地元で住んで見える方々と再会を果たし、懐かしい時を一緒に過ごしたいとの声が多く寄せられた事が大きな要因の一つでもあります。

今回、初参加の遠方の方々は、開始そうそうから過ぎ去った時間を取



り戻そうと時間一杯まで有意義な時間を楽しまれた様子が快く感じられました。

また、芸能界で活躍中のあべ静江さんからは、ビデオレターで参加をいただき、華を添えていただきました。

今、還暦も過ぎたこの時、懐かしい同級生との再会は本当に快く、時間が当時へ戻っていく瞬間がたまらなく幸せの時間である事を、参加された皆さんの一致した意見であることは言うまでもありません。

二時間という時間はあっという間に過ぎ去り、名残惜しい中、また次

回の開催再会を皆さんと約束をして会場を後にしました。

今回諸都合により参加出来なかつた方々におかれましては、次回開催の案内をどうか楽しみにお待ちしております。

三組合同クラス会実行委員会

- 代表 K組 青木伸夫  
幹事 J組 改田登志男  
幹事 L組 窪田孝次

昭和五十三年卒

A・B組合同クラス会

高校昭和五十三年卒業のA・B合同クラス会を、平成二十七年一月



十一日(日)にプラザ洞津にて開催しました。

A組安井、B組大川両担任の先生とクラスメイト三十一名の方々に出席いただきました。

三十七年ぶりの再会。

少し不安だったけど、みんなの顔を見たら一瞬で学生時代に戻り楽しいひと時でした。

また五年後にもっとたくさんのメンバーで変わらぬ笑顔で再会しましょう。

高校昭和五十三年卒

松江 厚子(島田)

昭和五十四年卒

三年コースプチ同窓会

どことなく秋の気配が漂う八月三十一日、アスト津二Fの雅にて昭和五十四年卒高田中学三年コースのプチ同窓会を催しました。参加者は学年担任の神山先生と県外からも含め卒業生三十三人。二次会には仕事等の都合で参加出来なかつたメンバー五人も合流し、話が尽きることなく三次会まで続きました。

今回のプチ同窓会はSNSが大活躍。杉浦(内田)聡美さんがLINEでグループを作り女子の同窓生に

呼びかけたのがスタート。反応がよかつたこともあり、男子にも声を掛けることとなり、玉井寛君が管理人を務める昭和五十四年卒高田中学三年コースのFacebookグループに反映。Facebookユーザーが繋がりのある人に声を掛けることで半数近い卒業生が集まりました。



限られた人数で親密な間柄だったこともあり、会が始まると時の隔たりに感じさせない打ち解けた雰囲気になりました。目玉は卒業生による神山先生を前にしてのスピーチ。卒業後から現在に至るまでの経緯を中心に語りましたが、それぞれの人が

心に残るスピーチ。卒業後から現在に至るまでの経緯を中心に語りましたが、それぞれの人が



**高田中学三年制 昭和五十七年卒業生同窓会**  
 平成二十七年一月二日、四日市シティホテルにて高田中学昭和五十七年卒業生の同窓会が開かれました。当日は、雪の影響で交通機関の乱れもあり、九十一人の卒業生のうち

卒業後、自分の人生を力強く生きていくことを感じさせるものでした。次回に向けては幹事に立候補してくれた松田繁樹君を中心に早くも幹事を結成。個人情報配慮しつつも出来るだけ多くの卒業生に参加してもらえる様に企画立案中です。

中学三年コース昭和五十四年卒  
 駒田 誠 司

参加者は十八人と少し寂しい人数でしたが、三年間担任を持っていたいた本田先生、三井先生にもご出席いただき、近況を報告し合ったり、昔話に花を咲かせたり、懐かしい級友たちと楽しい時間を過ごすことができました。

卒業してなんと三十三年！二十代で若々しかった三井先生も還暦を過ぎ、優しい顔でお孫さんの話をなさるなど、改めて時の流れを感じたところです。

一方、現役時代と全然お変わりなのは本田先生で、背筋がびんと伸び、かくしゃくとしていらつしやるご様子を見ると、私たちも五十歳を前に、疲れた顔をして背中を丸めちゃだめだな、と叱咤激励されている気持ちになりました。

それから、同窓生のみなが、それぞれ仕事や家庭や地域において責任ある立場で活躍している様子を伺うと、自分もがんばらなくちゃ、とたくさん刺激を受けました。

同窓生の中には、三重県を離れて生活している人も多く、なかなか一堂に会することは難しいのですが、次回はおもつともっと大勢で盛り上がりたと思いますので、皆さんぜひ参加してくださいね！

(昭和五十七年卒 栞屋 典子)

皆様方には日頃より樹心同窓会発展と運営にご理解とご支援を賜り御礼申し上げます。本年も同窓会総会の日が近づいてまいりました。会員の方々お誘いのうえ多数出席よろしくお願い致します。昨年より協力金・協賛金のお願いを致しましたところ、個人の方々や企業より多くのご協力ご協賛をいただき心より御礼申し上げます。ご支援いただきました方々のお名前、企業名は学苑ホームページに掲載させていただきますが本年も引き続きご支援ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。また会報「会員たより」の内容充実を計るため学年会、クラス会、クラブOB会等を開かれましたらその紹介とスナツプを同窓会事務までお送り下さい。たくさんのお寄せをお待ちしております。

樹心同窓会事務局 安井 敏明 (会四十四号卒)

**平成26年度 退職教職員**

(中・高)

大川 喜康  
 堅田 光英  
 河原 貴子  
 杉浦 美知子  
 竹屋 エリ子  
 榎尾 義就  
 富森 孝明  
 春川 興二  
 吉田 興二

(短大)

大野 亮一  
 山田 亮一

**訃報**

玉樹 良昭 (S15 専門卒)  
 榎森 薫 (S23)  
 吉川 茂一 (S5 旧中卒)  
 平松 芳郎 (S10)  
 小林 喜民 (S14)  
 石田 天溪 (S16)  
 浅井 恒男 (S15)  
 長谷川 太刀雄 (S16)  
 山内 昭然 (S18)  
 岡正 美巳 (S19)  
 後藤 和巳 (S19)  
 浅野 晃 (S21)  
 中村 誠 (S24 高校卒)  
 蒔田 生 (S25)  
 落合 富士雄 (S24 高校卒)  
 小森 政幸 (S25)  
 青木 三郎 (S26)  
 河原 博明 (S26)  
 北川 彰秀 (S26)  
 佐野 策也 (S26)  
 中津 正佳 (S26)  
 樹立 佳也 (S26)

青田 正規 (S27 高校卒)  
 駒田 才生 (S27)  
 嶋田 昭順 (S28)  
 長谷部 昭順 (S28)  
 東海 充子 (S30)  
 青木 真暁 (S35)  
 前出 政男 (S37)  
 古市 一紀 (S47)  
 儀賀 光一 (S48)  
 下里 英二 (S53)  
 杉浦 かおる (S55)  
 片岡 賢一 (S56)  
 岡本 勝也 (S57)  
 村田 正幸 (S58)  
 山内 真 (S58)  
 加藤 吉能 (S15)  
 諏訪 五夫 (S25 中3卒)  
 小林 健二 (S28)  
 稲垣 善人 (S30)  
 前田 禮子 (S30)  
 井上 芳樹 (S41)  
 海津 利勝 (S41)  
 田中 尚之 (S55)

**\*お詫びと訂正**  
 昨年度会報の物故者に、石谷 長生様 (高校S35年卒) を間違えて掲載してしまいました。ご本人様をはじめ関係者の方々にも大変ご迷惑をおかけしてしまいました。申し訳ございませんでした。  
 今後このようなことのないよう気をつけてまいります。  
 ここにお詫びとして訂正させていただきます。

**事務局だより**

皆様方には日頃より樹心同窓会発展と運営にご理解とご支援を賜り御礼申し上げます。本年も同窓会総会の日が近づいてまいりました。会員の方々お誘いのうえ多数出席よろしくお願い致します。昨年より協力金・協賛金のお願いを致しましたところ、個人の方々や企業より多くのご協力ご協賛をいただき心より御礼申し上げます。ご支援いただきました方々のお名前、企業名は学苑ホームページに掲載させていただきますが本年も引き続きご支援ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。また会報「会員たより」の内容充実を計るため学年会、クラス会、クラブOB会等を開かれましたらその紹介とスナツプを同窓会事務までお送り下さい。たくさんのお寄せをお待ちしております。

樹心同窓会事務局 安井 敏明 (会四十四号卒)

\*ホームページアドレス  
<http://www.mie-takada-hj.ed.jp>  
 \*メールアドレス  
 jushin@mie-takada-hj.ed.jp  
 \*協力金振込口座 (1口 1,000円)  
 ゆうちょ銀行 口座番号、記号 00870-1-125341  
 高田学苑樹心同窓会

**ご受章おめでとうございます**

**今中 功様** (中3昭和30年卒、高校昭和33年卒)  
**瑞宝小綬章ご受章**  
 平成26年11月3日  
 教育功勞、元公立高校学校長

**榎尾 義就様** (高校昭和38年卒)  
**瑞宝双光章ご受章**  
 平成27年4月29日  
 危険業務従事者として、また警察業務42年間の功勞によりご受章されました。